

平成27年9月10日

～ゆったりとした時間を楽しむ、上質な大人旅へ～

## 大阪阿部野橋駅～吉野駅間に新しい観光特急が平成28年秋デビュー！

近鉄では、「あべのハルカス」が立地する大阪阿部野橋駅を起点とし、古代のロマン薫る橿原・飛鳥を經由し、桜の名所吉野山の麓に位置する吉野駅に至る南大阪線・吉野線において、「上質な大人旅」をコンセプトとする観光特急（3両1編成）を、平成28年秋から運行することといたしました。

南大阪線・吉野線沿線には、日本遺産に指定された「明日香村」、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録された「金峯山寺」をはじめとする由緒ある寺社仏閣、美しい自然景観を誇る「みたらい溪谷・洞川温泉」や「大台ヶ原」など、豊富な観光資源に恵まれています。また、昨今人気が高まっているワイナリー（羽曳野市一帯）、地酒蔵元（吉野町・御所市など）が立地するほか、フルーツの名産が多いのも特徴です。

今回導入する観光特急計画では、3両1編成の車両を大幅に改造し、落ち着いた上質な内外装を施した上で、全席デラックスシートとしてゆったりとしたご旅行をご提案します。中間車両の2号車には大型のバーカウンターを設けて沿線の特産品を活かしたメニューをご提供するとともに、寛いだ時間をお過ごし頂けるラウンジスペースを設けます。

この観光特急で、南大阪線・吉野線の魅力に触れる旅にお出かけ頂ければと考えています。詳細は別紙の通りです。

### 1. 車両の主な特徴

- ① 「上質な大人旅」をコンセプトとし、車両外装は落ち着いた色調とし、車内も大人の上質な空間を演出します。
- ② 座席はすべて2列＋1列のデラックスシート。
- ③ 2号車には、沿線の特産品などの軽食や飲料を販売するバーカウンターを設置するとともに、ゆったり寛いでいただけるラウンジスペースを設置します。

### 2. 運行計画

- ・ 運行開始 平成28年秋からの予定。
- ・ 運行概要 週6日（週1回運休。春休みなど運行する日もあります。）、昼間時間帯（2往復）を中心に運行。
- ・ 停車駅 現在の特急停車駅と同様。（大阪阿部野橋・尺土・高田市・橿原神宮前・飛鳥・壱阪山・吉野口・福神・下市口・六田・大和上市・吉野神宮・吉野の各駅）
- ・ 料 金 特急料金＋特別車両料金  
大人720円、小児370円

※ご乗車には、上記料金のほかに普通運賃が必要です。



座席スペース（イメージ）



外装（イメージ）

南大阪線・吉野線観光特急の概要

1. 運行開始時期 平成28年秋（予定）

2. 運行概要 大阪阿部野橋駅～吉野駅間を以下の昼間時間帯（1日4便、2往復）を中心に運行（所要時間約1時間20分）

大阪阿部野橋駅発	（1便）10時頃	（3便）14時頃
吉野駅発	（2便）12時頃	（4便）16時頃

3. 運行日 週6日運行  
（週1回運休。春休み、夏休み、ゴールデンウィークなど運行する日もあります。）

4. 停車駅 現在の特急停車駅と同様  
（大阪阿部野橋・尺土・高田市・橿原神宮前・飛鳥・壱阪山・吉野口・福神・下市口・六田・大和上市・吉野神宮・吉野の各駅）

5. 座席数 70席程度（全席座席指定）

6. 料金 大人720円、小児370円  
特急料金（大人510円）＋特別車両料金（大人210円）  
※ご乗車には、上記料金のほかに普通運賃が必要です。

7. 改造車両 3両1編成、一般車両（6200系）を改造

8. 投資額 約2億円

9. 車両概要

- 外装（イメージ）  
落ち着いた色調で塗装。



←大阪阿部野橋

吉野→

- 車両編成  
1・3号車：座席はすべて2列＋1列のデラックスシート  
2号車：ラウンジスペースとし、軽食・飲料を販売するバーカウンターを設置

● 車内イメージ

1・3号車：座席はすべて2列+1列のデラックスシートとし、上質な空間でゆっくり寛いでいただけます。



2号車：ラウンジスペース。バーカウンターでは軽食や飲料を販売します。



10. 車内サービス

- (1) 専属のアテンダントが乗車し、軽食や飲料の販売、沿線の名所・ビュースポットの案内放送などのサービスを行います。
- (2) 南大阪線・吉野線沿線には、フルーツの生産地やワイナリーが多く立地します。車内では、地元の特産品を活用したオリジナルスイーツやワインなどを販売します。